



## 報告:「国際学生“社会的 EV”デザインコンテスト 2022」説明&相談会

2022年6月1日

一般社団法人 電気自動車普及協会(APEV)

代表理事 田嶋 伸博

デザインコンテスト実行委員長・理事 山下 敏男

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃から弊会の活動にご協力下さり、心より感謝申し上げます。

一般社団法人 電気自動車普及協会(APEV)が主催している「国際学生“社会的 EV”デザインコンテスト 2022」の説明&相談会を開催しましたのでご報告いたします。

■日時:5月29日(日)15時-16時(GMT+9:00)

■方法:Teams オンライン会議

■主催:一般社団法人 電気自動車普及協会(APEV)

■協賛:(50音順)

(株)ベネッセホールディングス、CCCマーケティング(株)、デル・テクノロジーズ(株)、日野自動車(株)、日本アイ・ビー・エム(株)、MONET Technologies(株)、(株)ワコム

■参加校(50音順)

岡山県立大学、神奈川大学、京都工芸繊維大学、星城大学、千葉工業大学、千葉工業大学大学院、東京大学、東京都立大学、長岡造形大学、HAL 大阪、HAL 東京

### ■プログラム

15:00 開会宣言:事務局

[A] 15:01~15:05 『ウォーミングアップ』:日本 IBM 中山 透 氏

[B] 15:05~15:20 『コンテスト主旨および補足』説明

・5分 主旨説明:山下 敏男 実行委員長

・10分 補足説明:日本 IBM 佐藤 圭一 氏

[C] 15:20~16:03 『クロストーク』参加者との質疑応答

・ファシリテーター:日本 IBM 中山 透 氏

パネリスト:山下敏男実行委員長+日本 IBM 佐藤 圭一 氏+東京工科大学 相野谷 威雄 先生

・相談会:事前に SNS で戴いた内容や当日の質問に回答

・マッチング:チームの希望を聞き後日マッチングへ移行

16:03 閉会宣言:事務局

### ■内容

➢ 『ウォーミングアップ』:

日本 IBM 中山 透氏が参加者の質問・コメントを共有する手法として“Slido”の紹介と実演を行った。

➢ 『コンテスト主旨および補足』説明

山下 敏男 実行委員長が、「デザイン系を含む幅広い学生の参加を期待して・・・『ビューティーコンテスト』ではないことを再確認したい！！デザイン系以外の参加を期待している。」と述べた。

具体的には「評価基準に対する考え方」のスライドを使って、評価基準得点の割合をモノから発想=30点、コトから発想=70点にする事を説明した。

【再々送信】5月29日(日) 15時~APEVコンテスト説明&相談会開催

01:02:05 制御を要求 参加者 チャット リアクション ルーム アプリ その他 カメラ マイク 共有 退出

## 評価基準に対する考え方

これまでのコンテストとの違い!!!

**コトから発想**  
デザイン思考を中心とした発想

評価基準得点割合: **70点**

- ① 2040年に予測される社会価値の有り様と人々の生活に対する課題の考察
- ② 考察を踏まえ向かうべき理想的なあるべき姿を提示
- ③ 人々の生活形態を踏まえ解決の道すじの仮説を構築する

**モノから発想**  
スタイリングを中心とした技術面での発想

評価基準得点割合: **30点**

- ④ ソフトウェア的思考をベースにスタイリング表現にて新規性や差異化を探究
- ⑤ 具体的実現性に関する調査を裏付けに解決策を技術的背景としてスタイリングにまとめる

① 20点	② 20点	③ 20点	②④ 20点	10点	⑤ 10点
社会課題の考察	2040年社会ビジョン	解決策のコンセプト	社会デザイン及びその中のEVの位置づけとデザイン	オリジナルティ	2040年での実現の可能性を秘めていること

\* 過去4回のコンテストイメージ

Toru Nakayama IBM (Guest) (ゲスト) Association for the Promotion of Electric Vehicles 9

「評価基準に対する考え方」説明: 山下 敏男 実行委員長

➤ 補足説明:

日本 IBM 佐藤 圭一 氏よりスライドを使って当コンテストの説明があった。

- ・応募者の方にとっての価値・魅力は何か? > 応募者の方が得られる体験として「俯瞰してみる力、概念化力、コラボレーション力」を身につけることができる
- ・どんな人が応募できるのか? > 未来の課題解決者 = 学生メンバーであるので、さまざまなバックグラウンドを持ち、未来社会創造を目指す人全ての方が応募の対象
- ・デザインのスタートは課題設定から > いきなり意匠からスタートではなくて、課題設定をしっかりとってください。課題設定は、みなさんが自由にして OK ! !

➤ 『クロストーク』参加者との質疑応答

・ファシリテーター: 日本 IBM 中山 透 氏 / パネリスト: 山下敏男実行委員長+日本 IBM 佐藤 圭一 氏+東京工科大学 相野谷 威雄 先生が自己紹介の後で下記のテーマで議論した

[1] 『“社会デザインとEV”2040 の提案』の社会デザインの意味とは?

- ・デザインという言葉の定義
- ・“考察”を重視する理由

[2] 『融合型人材』の発掘・育成と我々が期待する『共創』の概念

- ・目まぐるしく変化するビジネス環境において、共創によって競争優位性を確保する?
- ・企業の現場における危機意識は?

(写真は次頁)

➤ 相談会: 質問に口頭で回答した

Q1: 一次作品はどのデータファイルで提出するのか?

A1: 小論文とビジュアルスケッチを pdf で出して欲しい。

(追記) 論文の文字数やスケッチのサイズは追って連絡する。

Q2: 学内でチームを組んでいるが、学外で別チームをもう一つ組んで出場することは可能か?

A2: 両方のチームが了解していれば、1人が2つのチームに属する事は可能。

➤ 最後に事務局から、今回のアンケートの回答とコンテスト本番への参加お願いがあった。

■今後の日程:2022年(予告なく変更になる場合があります)

- 6月20日:エントリー締切
  - 7月19日:一次作品提出締切
  - 8月1日:一次審査結果発表
  - 8月9日:ワークショップⅠ開催
  - 9月5日:二次作品提出締切
  - 9月21日:二次審査結果発表
  - 10月9日:ワークショップⅡ開催
  - 10月18日:最終審査&表彰式及び APEV シンポジウム開催\*
- \*東京モーターショー(2022年は開催せず)に代わり CEATEC2022 と連携を行う

【再々送信】5月29日(日) 15時~APEVコンテスト説明&相談会開催

01:14:37

制御を要求

参加者 チャット リアクション ルーム アプリ その他 カメラ マイク 共有 退出

APEV : 国際学生"社会的EV"デザインコンテスト2022

パネリスト

ファシリテーター

日本アイ・ビー・エム株式会社  
テクノロジー事業本部  
クライアント・エンジニアリング部  
ビジネス トランスフォーメーション  
コンサルタント

中山 透様

主催者代表  
デザインコンテスト  
実行委員長  
山下 敏男

参加者代表  
東京工科大学大学院  
デザイン学部 デザイン学科  
大学院 デザイン研究科  
講師  
相野谷 威雄 先生

協賛企業代表  
日本アイ・ビー・エム株式会社  
テクノロジー事業本部  
クライアント・エンジニアリング部  
デザイナー  
佐藤 圭一 様

Toru Nakayama IBM (Guest) (ゲスト)

Association for the Promotion of Electric Vehicles

『クロストーク』参加者との質疑応答 ファシリテーター:日本IBM 中山 透 氏  
パネリスト:山下敏男実行委員長+日本IBM 佐藤 圭一 氏+東京工科大学 相野谷 威雄 先生

■資料

- ・説明資料全体pdfはこちら:<https://www.apev.jp/0529> 説明相談会資料 最終版.pdf
- ・ビデオはこちら: <https://youtu.be/WOWJTakJp04>

以上

一般社団法人 電気自動車普及協会では、引き続き会員を募集しております。  
お気軽に事務局までお問い合わせください。

- トップページ <https://www.apev.jp/>
- 入会ご案内ページ <https://www.apev.jp/entry/>
  - 正会員(企業向け):年会費 10万円
  - 賛助会員(個人向け):年会費 1万円
  - 特別会員(行政機関・官公庁・マスコミ関係者様向け):年会費 無料

問い合わせ:一般社団法人 電気自動車普及協会(APEV)内  
APEV デザインコンテスト 事務局 安嶋(やすじま)  
〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学 情報学環・福武ホール  
TEL:050-3375-4937 FAX:050-3153-2686  
E-mail :[contest@apev.jp](mailto:contest@apev.jp) Website : <http://www.apev.jp/contest/>